

# 市政ニュース

昭和47年9月1日 287号  
毎月 1日・15日発行 一部4円  
発行所 五所川原市役所



米が余るといふ不思議な世の中がきた  
人間サマが食べてなお余るのなら  
雀クンがおすそ分けにあずかって 当然のこと  
わたしなどもうお役ゴメンかと思った  
のに:  
丹念に作ったものを余ったからと  
いって雀クンの鯛にするのは  
忍びないというところか  
ことしもまた雀追いの役目を  
引きうけることになった  
ああ 張り合いがあった昔が  
なつかしい

## 七二〇人が大人の仲間入り

### おめでとそう新成人

#### 佐々木市長が記念講演

市の「四十七年成人式」は、月遅れお盆に入ったばかりの八月十四日、ことし新しく成人になった三百五十人の若人が出席して行なわれ、人生の門出を祝いました。

市で、ことし二十歳を迎えた該当者は七百二十人（男三百三人、女四百十七人）で、昭和二十七年に生まれた、戦争を知らない若人たちです。式場の市民文化会館は、マキシやミニスカートの軽装した新成人で終日にこやかなムードにあふれていました。

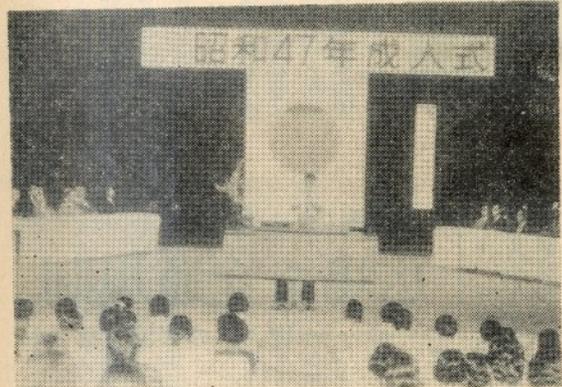
式は、午前九時三十分から「君が代」斉唱のあと、小山市教育長が「激動する情報化時代において、自己を見失うことがないように」と式辞をのべ、秋田市議会議長から祝辞がありました。新成人を代表して、野呂尚子さん（尻無、農業）が前田市教育委員長から記念品を受け、渋谷健吾さん（布屋町、学生）が「豊か

なまちづくりががんばります」と力強く答辞を述べました。

続いて石岡たい子さん（野里、学生）福士則夫さん（高野、農業）が、「成人を迎える」と題する感想文を披露し、出席者全員で「市民の歌」を斉唱して終わりました。

式のと、佐々木市長が「成人に期待する」と題して記念講演し中国の古い時代の詩人の言葉やマキシの長髪やマキシの風俗や文化は巡り巡ってくる、などとお話し感銘を与えました。

講演のあと人形劇「結婚の申込み」が初公演し、場内を爆笑に包



晴れの式で感想文を朗読する福士則夫さん（壇上中央）

んだあと、五一中OBの「バンド演奏」、それに「成人のつどい」があり、会場は新成人の誕生でにぎわいました。

なお、当日、受付会場で裏千家淡交会青年部がお茶の接待をし喜ばれました。

#### 「黒星病」の葉は 焼き捨てよう

いま一度、りんご園を徹底的に調査してください。

罹病葉が発見されたら、直ちに焼却して「黒星病」を来年に越年させないようにしてください。

#### 心配ごと相談

##### 九月の日程

市の「心配ごと相談所」の九月の相談日と相談員は次のとおりです。  
日常生活のあらゆる心配ごとについて、どなたもお気軽にご利用ください。  
相談は、午前九時から午後三時までで窓口は生活環境課です。

- ▽六日（水）姥名誠一、鶴谷ヤナ▽十三日（水）坂本庸一、太田春悦▽二十日（水）山谷満広、坂本憲泰▽二十七日（水）山内清祐 佐藤甚一

#### 「社会福祉に」と 十万円寄贈

板柳町の安田啓治さんは市の社会福祉事業に役立ててください、とこのほど香典返しの一部として現金十万円を市福祉事務所に贈りました。

また五高卒業生のフオーグループ「唐変木（とうへんぼく）」（チームリーダー長尾勝文さん）は、このほど行なった公演の益金一万二百八十円を県善意銀行五所川原支店に預託しました。

### お祭り広場で

## 名物の朝市開く

「お祭り広場」として完成した市庁舎前庭で、八月十一日から名物の「朝市」がにぎやかに店開きし、産地直売の新鮮で安い野菜やくだものに人気が集まりました。

「朝市」は、これまで市民文化会館前で開かれていましたが、市では市民の台所と直結した物価流通対策の一貫として

これから計画している格安品を並べた「掘出し市」や「びっくり市」の開催に先がけて行なったもので

この日は、午前三時から朝モヤをついて市内はもろん、近郷近在の農家からリヤカーやトラクター六十

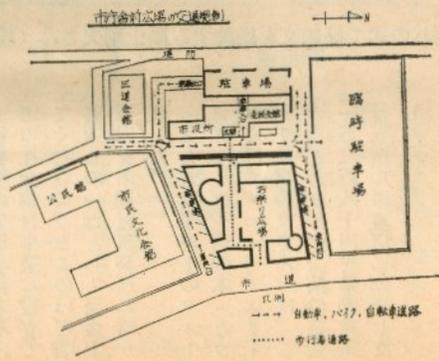


にぎやかな「朝市」風景

台ほどがくりだしました。ナス、キウウリ、トマトスイカなど季節の新鮮な野菜やくだものが露店に並べられ、市価より安いとあってサラリーマン家庭や商店の主婦たちでにぎわいました。

「朝市」は、十一月末まで毎日午前三時から七時まで開かれます。

### 車両は一方通行 広場を交通規制 — 皆様のご協力を —



市では、庁舎前の広場を交通事故防止と催しもの際の混雑緩和のため別表・カットのとおり交通規制を行なっています。

庁舎内にお出入りの際はみなさんのご協力をお願いします。

自動車（バイク、自転車も含む）などの車両は、庁

### 市出稼協会

## 留守家族の援護を

市出稼協会（会長佐々木市長）は、八月十五日開いた総会で、ことしから留守家族の現地訪問など留守家族の援護を主体とした次の新しい事業を決めました。

ホーム電話の実施、留守家族の巡回相談、出稼者就業状況の写真展の開催、留

守家庭の児童、生徒の慰安激励会の開催、留守家族現地訪問と視察の実施。

ほかに、会員と協会の情報を交換する「連絡調整」と雇用条件の説明会などを開いて事故防止にあたるなど、安全で明るい出かせぎをめざしております。

### 警察官を募集

四十八年四月採用の「青森県警察官」を次の要領で募集しております。

▽受験資格 十八歳から二十七歳までの男子で、高校卒業者（卒業見込者を含む）

▽申込期日 九月一日から九月三十日まで（申込書は五所川原警察署にあります）

▽試験日、場所 十月八日（日）午前八時半から、五所川原高校で教養試験（五技択一式）作文、身体検査を行ないます。

### 「青年の船」 団員を募集

市立「国連青少年の家」では、市内の青年男女を対象に第三回地中海「青年の船」の団員を募集しています。

募集要項は次のとおりですが、詳しくは「国連青少年の家」電話④三四九四番にお問い合わせください。

▽渡航期間 昭和四十七年十二月二十五日（月）～昭和四十八年二月十三日（土）の二十日間

▽訪問国 イタリア、エーゴ、ギリシャ、エジプトフランス、ほか

▽経費 三十万円ぐらい  
▽募集人員 全国で四十

### 一市の施設見学会

△と き 9月13日（水）午前10時から午後3時終了

△申込み方法 9月5日（火）までハガキに住所、氏名、年令、職業を書いて市情報課にお申し込みください。（定員50人）

△見学コース 市役所前（集合）～衛生処理センター～勤労青少年体育センター～津軽フラワーセンター～松島会館～学校給食センター～元町浄水場～三道会館～市役所、の順です。

△経 費 昼食代として100円いただきます。なお施設見学会は10月まで毎月1回、第2水曜日を予定しています。

# 社会の指導者に＝ 身障児と語る会開く

身体の不自由なこどもたちと悩みごとを話しあう、という「身障児と語る会」が八月十五日、産経会館に小、中学校の身体の不自由な児童、生徒九人に父兄も混って行なわれました。

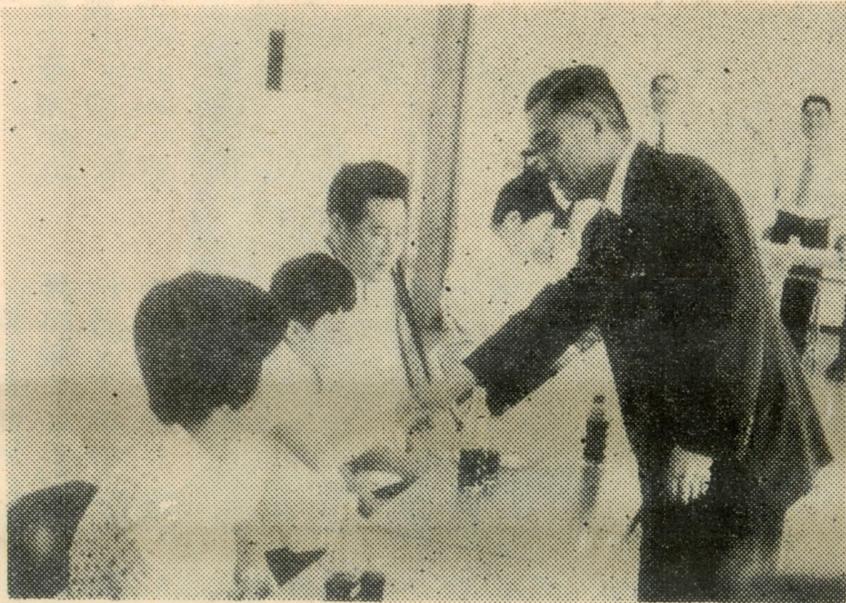
これは、市身体障害者福祉会（川浪喜代作会長）が初めて開いたものです。

佐々木市長は「市職員のなかにも身体の不自由な人はいくらでもおり、それぞれ重要なポストで、仕事に励んでいる。この人たちが欠けたら、市政の機能がマヒしてしまうほど、一般職員以上の役割を果たしていただきます。

みなさんも一般の人々に伍してではなく、それ以上の社会の指導者となるようがんばってください

## 生活の未来を ひらく下水道

下水道は、近代都市にとって必要不可欠の施設であるにもかかわらず、その普及が著しく遅れている現状にあります。下水道の整備促進について、国民の深い理解と、その協力を得ることを目的に、ことしも九月十日を「全国下水道促進



「がんばるんだよ」市長に励まされ、握手

「ださい」と励まされました。続いて市長は、身体の不自由な児童、生徒ひとりひとりに記念品を手渡し力強く握手を交わしました。川浪会長が、自らの体験を披露して励ましたあと、こどもたちといっしょに話し合い、こどもたちは、一般のこどもたちから違う目で見られることもある。学校にぼくたちにもいた遊び道具をふやしてほしい。など市長に直言し、日頃の悩みごとをうったえておりました。

## 市政ダイヤル

その日の  
行事や予定は

でんわ⑤4321

## 県内一の長寿者

### 真藤ひでさんらに顕彰

——県老人福祉大会で——

第十回青森県老人福祉大会が九月七日と八日、青森市において開かれますが、当市から満一〇〇歳以上の長寿者として明治五年生れの市内羽野木沢、真藤ひでさんと満九〇歳以上の次の長寿者が県知事から顕彰を受けることになりました。

また当日、老人福祉の向上に尽された市内七ツ館、工藤直蔵氏（浅井真寿会長）に表彰状、市内梅田、前田重太郎氏（元市老人クラブ連合会長）に感謝状が県社会福祉協議会長、県老人クラブ連合会長から贈られることになりました。

## 商店街の

### 「広域診断」始まる

市と五所川原商工会議所は、市商業のあるべき姿を探るため八月十七日から「商店街の広域診断」を始めました。

診断には、委嘱された特別診断員の深川晃一氏（株式会社トータルプランニングセンター代表取締役、本社東京）吉永芳史氏（弘前大学助教授）県中小企業総合指導所、それに商工会議所、市商工観光課があたりました。

当日一行は、寺町、大町本町通りの商店で、客の出入り状況から陳列ダナやショーウィンドーの装飾状況などを調べましたが、こゝとの中に診断結果をまとめ、市商業の方向を探ります。

## 生活環境

### パトロール本部

住みよい

環境づくり

## でんわ

⑤1414

◇顕彰を受けられる市内の長寿者は次のとおりです

●満一〇〇歳以上

真藤ひで（羽野木沢）

●満九〇歳以上

中村さと（湊）平山ミヨ（同）白戸すな（七ツ館）今さな（幾世森、くるみ園）伊藤米吉（同）秋元おだけ（金山、青山荘）福士そよ（高野）（敬称略）

## 五所川原で

### NHKのど自慢

NHKが毎週日曜日、午後零時十五分から全国放送している「NHKのど自慢」は九月十日（日曜日）県立五所川原工業高校体育館で公開録画されます。

当日はベテラン歌手春日八郎、坂本スミ子のふたりがゲスト出演します。

なおこのもようは、九月二十四日（日）午後零時十五分から総合テレビで全国放送されます。

## 農薬の使用

### 基準が変更

昭和四十六年度に登録された農薬のうち、「チオファネートメチル水和剤」（トップジンM水和剤）の安全使用基準が変更になりました。

りんごの「黒星病」「ウドンコ病」「黒点病」に散布する場合、これまで収穫五十日前まで八回以内の散布回数でしたが、「収穫七日前まで十回以内」の散布回数に変更されました。なお、ナシの「黒星病」に散布する場合も同様です。

# 部落民が総出で

## 新十川堤防の草刈

市内広田の部落民は、七月二十八日、新十川堤防の草刈りと、清掃をしました。新十川の広田橋付近から下流一帯は、毎年夏になると雑草がおとなの背丈以上に伸び、向こう岸が見えないほどです。

このため、集中豪雨があると、流れが鈍り、増水を早める危険もあるほか、野ネズミが発生して堤防を痛めます。また、痴漢が出没する隠れ場所にもなっており、この日は、部落民百人が草刈ガマを持って、二層近く伸びた雑草を次々刈ってゆき、広田橋から下流千四百メートルに清掃されました。



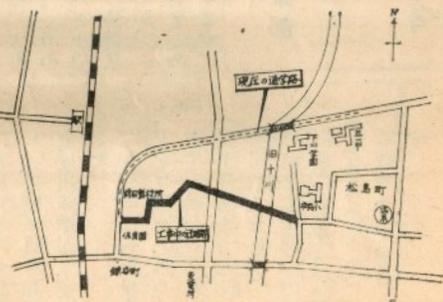
堤防の草刈りに汗を流す広田の人々

おばあさんから、夏休みに入ったばかりの中学生も参加し、いっしょに汗を流していました。

### 通学路変更のお知らせ

駅東部地区の土地画整理事業による旧十川橋梁架け替え工事のため、通学路を別表・カットのとおり変更します。

更します。通学生をはじめ、利用者のみなさんのご協力をお願いします。なお、橋梁架け替え工事の期間は、九月一日から四月十八年六月までの予定となっております。



注、太い黒線が変更後の通学路です

### 爆音器は夜間 は使わないで

スズメ追い爆音器の使用時期になりましたが、使用の適正でないものがみられ、毎年付近住民から苦情が多く出されているので、騒音防止のためにも次のことにご協力ください。

- ▽夜間は使用しない
- ▽病院、学校や人家に近いところで使用しないこと
- ▽不正使用者は、軽犯罪法(第一条、一四号静穏妨害罪)に問われることがあります

### 九月の明日を 開く映画の会

家族みんなで楽しみ、ためになる映画です。入場は無料です。

- ▽とき 九月九日(土) 午後二時～四時まで
- ▽ところ 市民文化会館ホール

### さつき町 子供会が優勝

市スポーツ少年団など主催の第六回「市内少年野球大会」は、八月十六、十七の両日、北斗運動広場で十チームが参加して行なわれ、つる状にのびて繁茂する一年草です。

### 野外植物に 親しもう

第七回「市民野外植物に親しむ会」は、九月五日(火)午後五時から岩木川原で行ないます。参加する人は、乾橋下にメモ帳を準備し、お集まりください。雨天決行です。

### 後期造林の 苗木を受付

四十七年度後期造林用の苗木を九月五日(火)まで申し込んでください。申し込みは、市農林課か各支所へお願いします。

### 児童巡回相談

弘前児童相談所の「児童巡回相談」は、九月十二日(火)午前九時から市中央公民館二階会議室で行ない

ます。養護家庭、身体の不自由な児童、知恵おくれ児童、長欠、不就学児童など児童問題についてあらゆる相談に応じます。

### 野草の花だより

△アキノキリンソウ(キク科)。茎の先に黄色い花を穂状にたくさんつけ、群れ咲くさまが見事な多年草です。

### 津軽フラワーセンター

(9月初旬～9月中旬)

この名も花の美しさをあらわしています。▽イシミカワ(タデ科)。茎に逆向きのトゲがあり、他物にひっか

り、つる状にのびて繁茂する一年草です。和名は「石見川」で大阪にある地名にもつづいたものといわれています。

この草の果が美しく自然愛好者の足を引きとめるのに十分です。つる茎の先にある藍色の玉の果は宝石そのものです。